

2011
6・15
毎月15日発行

月刊ん〜は新聞 vol.31

NPO

この情報紙は、山形市市民活動支援センターが発行する月刊紙です。センターの月毎の情報や皆さんからいただいた情報をお伝えしていきます！

市民活動支援センターカレンダー

6月

※○は休館日、☆は、講座・イベント開催日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	○6	7	8	9	10	11
12	○13	14	15	16	17	18
19	○20	21	22	23	24	25
☆26	○27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					☆1	☆2
☆3	○4	5	6	7	8	9
10	○11	12	13	14	15	16
17	○18	○19	20	21	22	23
24	○25	26	27	28	29	30
31						

公開プレゼンテーション開催日



イベント予定

参加者募集中!

参加者募集中!

「初心者でもわかるパワーポイント講座 ～実は簡単! ツボをおさえてラクラク資料作成～」

- 日 時：2011年6月26日(日)
7月 3日(日)
全2回 13:30～16:00
- 場 所：山形市霞城セントラル23階
山形市市民活動支援センター高度情報会議室
- 参加費：無 料
- 内 容：ポイントを絞ってパワーポイントを学び簡単なプレゼン資料を作成できる状態を目指します。
- 対 象：山形市で市民活動・NPOに関わる方で、パワーポイントの使い方を覚え、公開プレゼンテーションや活動に役立てたい方。
- 定 員：10名程度
- 申し込み：6月23日(木)まで
※詳細は、支援センターのホームページをご覧ください。

「参加者が集い、やる気を持ち寄るサークル・勉強会の立上げ&運営の技術 「ふりかえりの場のデザインとファシリテーション」

- 日 時：2011年7月1日(金) 午後6時～9時
- 場 所：山形市霞城セントラル23階高度情報会議室
- 参加費：1000円(資料代込)
- 講 師：株式会社エンパブリック代表取締役
慶應義塾大学SFC総合政策学部非常勤講師
広石拓司氏
- 対象・定員：場づくり、機会づくりのスキルを身に付けたい方
社内勉強会・コミュニティ運営の企画者・担当者
サークル・NPO・市民活動団体の代表・スタッフ
先着30名
- 内 容：参加者の学びを深め、やる気を高めるワークショップのプログラム作りとファシリテーションについて学ぶ

「つながり作りから生まれる新しいビジネスの立ち上げ方 「地域の人と資源を活かした事業を生み出す実践プロセスを学ぶ」

- 日 時：2011年7月2日(土) 午前10時～午後5時
- 場 所：山形市霞城セントラル23階高度情報会議室
- 参加費：1000円(資料代込)
- 講 師：株式会社エンパブリック代表取締役
慶應義塾大学SFC総合政策学部非常勤講師
広石拓司氏
- 対象・定員：地域資源を生かした事業・仕事のプロデュースに関心がある方
社内・組織内で組織の活性化、新規事業開発、多業種連携などを模索している担当者 先着30名
- 内 容：自身の事業・ビジネス・活動を成長させるために、どのような連携・協働を実現していけばよいか、ワークショップ形式で学ぶ



助成金情報

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

- 受付期間：【第3次応募期間】2011年6月20日（月）～同年7月31日（日）
- 対象団体：被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方がたへの救援支援活動を現に行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人学校法人、公益法人等
- 対象事業：・東日本大震災で被災された方がたを支援するボランティア活動等全般。
- 助成金額：（1）、（2）、（3）共通

ア. 短期（1カ月未満）の活動の場合

- 1) 1週間以内：10万円以内
- 2) 1カ月未満：50万円以内

イ. 中長期（1か月以上）の活動の場合：300万円以内

- 問合せ先：社会福祉法人 中央共同募金会企画広報部（助成金担当）
TEL 03-3581-3846 E-mail: support@c.akaihane.or.jp
詳しくは下記URLをご覧ください。
<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド（GBFund）助成活動募集要項

- 受付期間：2011年5月31日（火）～11月30日（水）
- 対象団体：アーティストや芸術団体などの文化関係者に限らず、芸術愛好家や地域の伝統芸能の担い手など幅広い芸術・文化活動をおこなう市民・団体も対象。
- 対象事業：（1）被災者・被災地を応援する目的でおこなわれる芸術・文化活動
（2）被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動
（3）その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動
- 助成金額：当ファンドの総額に照らしつつ、選考の都度、助成金額の総額を定め、採択件数および助成金額を検討します。（ひとつの活動につき原則50万円上限）
- 問合せ先：公益社団法人企業メセナ協議会「芸術・文化による震災復興支援ファンド」係
TEL：03-3213-3397 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp
詳しくは下記URLをご覧ください。
http://arts-fukkou.blogspot.com/2011/03/blog-post_30.html

おすすめブックナビ



社会起業家の条件

ソーシャルビジネス・リーダーシップ

マーク・アルビオン著

著者：マーク・アルビオン



true to yourself
leading a values-based business. Mark Atherton

「社会起業家の条件
ソーシャルビジネス・リーダーシップ」

発行：日経BP社
著者：マーク・アルビオン

本書は社会起業家を目指すリーダーのための実践的なガイドブックです。MBA卒業生たちの世界的な社会貢献ネットワーク団体「ネット・インパクト」の創設者である著者の経験をもとに、社会起業型リーダーに必要な資質や行動が紹介されています。どうやってビジネス・活動に社会的意義のある価値観を結び付けるか？自身のビジネス・活動のあり方について考えさせられる一冊です。（文責：舟田）

センター登録団体のつなぐコラム vol.31

認知症の人と家族の会は、1980年京都で結成され、全国46都道府県に支部があり、山形県支部は1987年に発足しました。

私たちの合言葉「呆けても安心して暮らせる社会」を目指し、活動をしています。会の名称も発足当時は、「呆け老人をかかえる家族の会」として生まれましたが、時代に即して「呆け老人をかかえる」から「認知症の人と家族の会」となり、社団法人の認可も受け、昨年6月には公益社団法人に認可されました。

会員同士の励まし合いはもとより、認知症になっても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られて日々の暮らしが安穩に続けられるように活動しています。「認知症って何？」認知症って分かったら」と山形県支部では、発足以来継続していることが3つあります。毎月欠かさずどんな方も自由に参加できる「山形

今回のコラムは…

公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部
（AD I：国際アルツハイマー病協会加盟）
世話人代表 山名康子 さん

つどい」、つどいに参加できずに自宅で介護をされている方に向けて発行を始めた支部会報「べにばな」。そして電話相談です。「ひとりで悩まないで会においで下さい」と会報にはいつもこの言葉を添えて集いの参加も呼びかけています。毎月第四土曜日午後「山形市市民活動支援センター」において開催して皆さんをお待ちしています。

また、毎年9月21日は「国際アルツハイマーデー」として世界の仲間とともに、街頭でアピール活動をしています。今年は9月17日に街頭で皆さんに「認知症を知ろう。共に考えよう」と呼びかけます。お会いしましたら声をかけてくださいね。

山形市市民活動支援センター

■開館時間 9:30~22:00（23階の展示コーナー・学習コーナーは18:00までの開館となっております）■休館日 月曜、祝日（月曜が祝日の場合翌日）、年末年始

■所在地 〒990-8580 山形市城南町1丁目1-1 霞城セントラル22階・23階

■TEL 023-647-2260 ■FAX 023-647-2261

■ホームページ <http://www.yamagata-npo.jp/> ■ブログ <http://blog.yamagata-npo.jp/center/>

■E-mail center@yamagata-npo.jp

★霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。

メールマガジン発刊中！

配信希望の方は、
kanri@yamagata-npo.jp
まで、ご連絡ください！